

単元名：

消費者の権利を守るために

(全5時間扱い中 第3時)

授業日時 令和3年11月2日(火) 第2校時

授業学級 3年D組

授業会場 3年D組教室

授業者

指導者

(1) ねらい

消費者の権利を守るために国や地方公共団体がさまざまな仕組みを整えていることと、自立した消費者として行動するために意識すべきことを理解することができる。

(2) 授業のポイント

- ・場面：悪徳商法による被害の対処法を考える。
- ・活動：被害を受けた前後にすべきことに着目して考える。

(3) 展開

| 過程 | 活動                                | ○授業者の主発問・◇留意点・★教材                                                                                                                       | 時間 |
|----|-----------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 導入 | 1. 資料を読み取り、気が付いたことや疑問から学習問題を設定する。 | ○「これを見て思ったことや疑問に思ったことはありますか」(資料の提示)<br>◇資料から、気が付いたこと、疑問に思ったことを問い、学習問題を設定する。                                                             | 5  |
|    | 【学習問題】どうすれば(悪徳商法による)被害を防げるのだろうか？  |                                                                                                                                         | 10 |
|    | 2. 学習問題に対する予想を立て、追究の見通しを持つ。       | ○「学習問題に対する予想を書きましょう」<br>◇予想と予想を確かめる方法を確認し、学習問題を据える。                                                                                     |    |
|    | 【学習課題】被害を受けた前後の自分の行動に着目して考えよう。    |                                                                                                                                         |    |
| 展開 | 3. 予想に基づいて資料を読み取る。                | ○「資料から読み取れたことを学習カードに記入しましょう」<br>◇一つ一つの資料の読み取りで終わっている生徒には、関連している内容を矢印で結び、複数の資料を関連付けて読み取るように助言する。                                         | 15 |
|    | 4. 資料を読み取り、分かったことを発表する。           | ○「資料からどんなことがわかりましたか」<br>◇法律、制度を区別できるように板書する。<br><div>【評価】消費者を守るための仕組みが整えられていく過程と、自分が自立した消費者として買い物をしていくために意識すべきことが理解できている。(ワークシート)</div> | 10 |
| 終末 | 5. 本時の学習を振り返る                     | ○「学習問題に対する答えを学習カードのまとめの欄に記入しましょう。」                                                                                                      | 10 |